



あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。



小児(6)十味敗毒湯



十味敗毒湯をニキビに使う

小学校の高学年の男女ともニキビの相談に来ます。かなり軽症から、赤い大きなものが多数目立つものまで様々です。先月来院した中学生男子は、おでこに赤黒っぽい色のニキビが多数見られました。洗顔と市販の軟膏を使用していたそうです。もともと皮膚が乾燥気味で、引っ掻くと化膿しやすく、四肢に引っ掻いた痕が黒っぽい皮膚を形成しています。化膿しやすい、をキーワードに十味敗毒湯(じゅうみはいどとう)を処方しました。2週間後再診。「飲み始めたら2週間でほぼ消えてしまいました」と。おでこはツルツルになっています。十味敗毒湯が有効だった例では、このように皮膚がツルツルになってきます。化膿しやすい体質の人、すでに化膿が目立つ皮膚を診たら試してみましょう。



鼻をほじりすぎて膿痂疹

小学生の女の子です。アレルギー性鼻炎があります。そこに、冷えて鼻カゼをひいてしまいました。透明な鼻水が大量に出て、次第に治ってきました。治りかけの時点で鼻水がドロドロになってきたので、気になって鼻の中を指でほじっていました。3日経過した頃から、鼻の中が膿んできました。外から見える鼻の粘膜が赤くなって、腫れています。一部に黄色の膿(のう=うみ)が見られます。「痛い」軟膏を塗っていたのですが一向に治らないので、当院を受診されました。「とびひですね、一部はおでこのように腫れています」鼻腔にはブドウ球菌が多くいますので、鼻の粘膜を傷つけると、すぐ化膿してきます。抗生剤の内服+抗アレルギー薬十味敗毒湯(じゅうみはいどとう)を開始しました。数日で鼻の粘膜の発赤は治まり、化膿は消えてしまいました。十味敗毒湯は、化膿性疾患の初期から使えます。膿が目立ってきたら、排膿散及湯(はいのうさんきゅうとう)があります。中間期なら、両者併用で可です。



小児夜間急病センター当番日

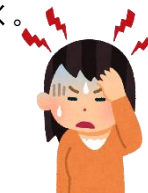
1月12日(土) 19:30-22:30(受付) 場所: 岐阜市民病院

大人(106)温経湯



頭痛と月経痛に漢方薬が有効だった1例

53歳女性。1日中座って仕事をしています。平成30年9月下旬から頭痛、ふらつき、耳痛がひどくなってきました。耳鼻科を受診され聴力は正常、耳鳴に関しては経過観察となったそうです。10年前に卵巣嚢腫で卵巣を全摘されています。他院で治療を受けて来られましたが、平成30年10月下旬に当院を受診されました。頭痛は日頃からあり、更年期に伴う頭痛もあったようです。食欲は普通、便秘あり(2日に1回、硬い便が出る)、足と下腹部が冷える、凝る、首・肩・背中・腰が痛い、しびれなし、目がかすむ、口の中が乾く。歯痕舌、心下痞鞭(心窩部痛)あり。おへその右下方に圧痛あり。冷える、口唇が乾燥、微小循環障がいあり。温経湯(うんけいとう)を2週間処方しました。頭痛に関しては、いかにも冷えが原因に思えたので、呉茱萸湯(ごしゅゆとう)を適宜飲んでもらうことにしました。2週間後再診。「漢方薬は飲みました。漢方薬を飲み始めたら鎮痛剤を飲む回数が減りました。」呉茱萸湯が無効だった時には、五苓散(ごれいさん)を試してもらうようにお話をしておきましたが、呉茱萸湯だけで事足りるようです。冷えと微小循環障がい問題だったようです。そこに漢方薬が有効でした。この方は、1ヶ月分を追加処方して当面通院予定となりました。



皮膚にもいい温経湯

37歳女性です。多発性の脱毛症で皮膚科通院中です。セファランチン、グリチロン、プレドニン内服中です。一年以上は通院しています。冷えが強く、手の湿疹が目立ちます。以前から当帰芍薬散(とうきしゃくやくさん)を飲んでおられましたが、先月から手のほてり、湿疹を目標に温経湯(うんけいとう)に変更してみました。「こっちの方がいい、気持ちよい発汗ができて肌にもいいみたい」温経湯は骨盤内の微小循環障がいを病因に発症した月経関連症状や更年期障がいを鎮める応答を引き出します。特に、「口唇の乾燥」には是非使ってください。毎年冬にリップクリームを大量に買ってくださる方に適応です。女性に限らず、男性にも良いかも。



岐阜市の漢方外来 1月19日(土)、26日(土) 14:00-17:30

場所: 中島小児科(岐阜県岐阜市鍵屋東町2-1) 院外処方箋となります。